

「滋賀県DX推進戦略(案)」策定について

1 策定趣旨

新型コロナウイルス感染症の流行による「新たな日常」は、ICTが県民生活や経済活動の維持に必要な不可欠な技術であることを改めて認識させる契機となり、行政をはじめ、これまでデジタル化が進まなかった領域においてもデジタル化の波が押し寄せている。

コロナ禍の逆境における社会変革の動きを捉え、社会変革のスピード等を考慮し今後3年間の集中的な取組として現ICT推進戦略を継承する形で「DX推進戦略」を策定する。

2 策定経緯

県デジタル社会推進本部を通じ、各部局における今後3年間のDX推進の取組について検討を求めて素案等を作成し、本特別委員会の審議(①5/26「DX の取組について」、②6/22「戦略策定の考え方について」、③7/14「戦略骨子について」、④10/6「戦略素案について」、⑤12/17「県民政策コメント実施結果について」)を経ながら、また県政県民コメント(10/29-11/30)の意見を反映しながら戦略案として取りまとめてきた。

3 戦略案の概要(資料 3)

(1)計画期間： R4 年 4 月～R7 年 3 月 3年間

(2)基本理念：「人が人らしく」生活し続けられるデジタル社会の実現を考え方の基礎とし、①「県民の暮らしを健康でより豊かにし、地域社会の持続的発展につながる新たな価値創造」、②「誰一人取り残さない」、③「安全・安心で人にやさしい」を設定。

(3)構成：「2030 年のめざすべき社会」を描き、その実現に向けた「2024 年度末までの取組」および「県の主な取組」について、「暮らし」「産業」「行政」の分野とそれを支える「基盤づくり」、「人づくり」の5つの領域に分けて策定。

(4)推進体制： 県デジタル社会推進本部において、本戦略に基づく施策の推進と、戦略に基づき定める「滋賀県 DX 推進戦略実施計画」の事業目標等の進捗管理を行う。

※12 月 17 日開催の特別委員会からの主な修正内容

(1)「滋賀らしさ」を求める意見に対し、戦略の3つの基本理念の前提となる基礎として「人が人らしく」を戦略案(資料3 6 頁)に位置付けた。

(2)ワーケーションについて、戦略案(資料3 19 頁)に追記した。

(3)マイナンバーカードの取得促進について、戦略案(資料3 35 頁)に追記した。

(4)地域交流の促進について、戦略案(資料3 35 頁)に追記した

4 戦略実施計画の概要(資料4)

(1)期間: R4 年度~R6年度 3年間

(2)事業: 「暮らし」37事業 620,923千円、「産業」32事業 1,258,797千円、「行政」30事業 472,467千円、「基盤」5事業 223,676円、「ひとづくり」7事業 165,598円、合計111事業 2,741,461千円(毎年度更新)

(3)進捗管理

ア 分野毎に分野別指標を設定。

イ 各県取組事業毎にR4年度末とR6年度末の目標値を設定。

ウ 県デジタル社会推進本部で進捗管理等を行う。

5 今後のスケジュール

教育改革・ICT 推進対策特別委員会(3/15)の戦略案審議を経て 3 月末までに策定・公表予定。